

# 市議会だより

# GOJO

No.63

発行 五條市議会 編集 議会広報編集委員会  
平成 29 年（2017 年）5 月 1 日

波宝神社は、『日本文徳天皇実録』に天安2年（858）3月に官社になったとの記録があり、祭神には、住吉大神と神功皇后が奉られています。  
文久3年（1863）天誅組の本陣となり栃原を占領した彦根の陣営と戦うが苦戦し、大日川から天辻へと陣を引き揚げました。



（波宝神社 西吉野町夜中）

## 五條市議会第1回3月定例会の概要

平成29年第1回3月定例会は、3月1日に開会、会期を24日までの24日間と決定し、初日に市長から新年度における施政方針と提出議案の説明を受けるとともに、代表監査委員から平成28年度定期監査報告がありました。

本定例会には、平成29年度各会計予算案をはじめ、五條市史編纂委員会条例の制定、五條市地域子育て支援拠点施設条例の制定、五條市男女共同参画推進条例の制定、平成28年度一般会計などの補正予算の重要案件が市長から提案され、平成29年度の各会計予算案については、慎重審議を期するため、予算審査特別委員会を設置し、それぞれ慎重な審議を行うとともに、7名の議員が一般質問を行いました。3月24日に議事が全部終了し閉会いたしました。

### 目次

一般質問	2～8ページ
特別委員会視察研修	9ページ
議長交際費・おわびと訂正	9ページ
総務文教常任委員会の報告	10ページ
厚生建設常任委員会の報告	11ページ
予算審査特別委員会の報告	12ページ～13ページ
議決結果	14～15ページ
南和広域医療企業団議会の報告ほか	16ページ

## 五條市



市制施行60周年

輝く未来へ、ともに進もう！

# 一般質問

定例会では、議案に係らず市の一般事務について質問することができます。これを一般質問といい、以下質問順にその概要をまとめています。

## 安全な水の供給を確保するための施策について



山口耕司議員

**山口** 国では平成29年度水道施設整備予算案には全国の自治体で老朽化が進み管路の更新が問題視されている水道施設の水質安全対策・耐震化対策として前年度より20億円の増額で35

5億円が計上されている。従前に増して水道管の修繕や改修を担う地域の中小・小規模事業所に経済波及効果が及ぶことが期待される。

本市において、新庁舎、ごみ集積所、養護老人ホーム「花咲寮」等の建設に向け大きく動き出そうとしている。市民にとっての大切なライフラインである水道事業の現状と将来の見通しについて尋ねる。

### 水道局長 ①管路更新率

0・74% (0・76%全国)

②鉛管366件、石綿(A

スベスト)管6300メートル③耐震率約6%である。

**山口** 水道事業におけるアセットマネジメント(資産管理)についての取組状況について尋ねる。

**水道局長** 本局で管理する、固定資産台帳、配水管路データを活用し老朽化施設等の問題点を洗い出し、資産の将来予測を算出するための実施計画策定業務を行っている。

**山口** 平成28年度決算より、公会計制度が導入され、今の固定資産台帳には、管路は記載されていない。アセットマネジメントの完成はいつになるのか。

**水道局長** 来年度には、資産管理が構築できるよう努める。

**山口** 新庁舎建設に伴う、岡口地区や、須恵地区周辺の道路整備事業には、水道管の改築が必要不可欠と考

えるが。

**市長** 新庁舎建設予定地周辺のライフライン整備は行う。既存の施設整備については方針を立て行う。



## 子ども医療費助成制度について

**山口** 安心して子育てができるまちを目指し、その健

やかな成長と福祉の増進を図るため、医療費の一部を五條市に住所を有し、健康保険に加入している0歳から15歳(中学校卒業の3月31日)までの子供を助成していたらだいているが、立替払で2から3箇月後に戻る自動償還となっている。子供の医療費の窓口無料化に向け奈良県との検討の場を求め、要望書を2月27日に荒井知事、3月1日に太田市長に提出したところ。五條市においても国の結論を

踏まえて、子供の医療費の現物給付導入に向けた検討の場を奈良県と速やかに立ち上げ、見直しを行うことについて見解を求めます。

**すこやか市民部長** 県・市町村を含む関係団体・諸機関と連携し協議を行いたい。他の一般質問

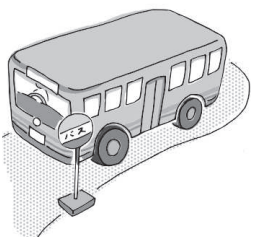
○マイナンバー制度について

①マイナンバーカードの発行の状況について  
②個人カード普及の取組について

○子育て支援施策について  
①電子母子健康手帳情報サービスについて

○地域公共交通について  
①平成29年度の取組について

②地域と連携した地域公共交通について





窪 佳秀議員

## Q：学校適正化について

A：緊急性の高い学校から段階的に進めていく。

### 学校適正化について

**窪** 学校適正化の説明会・意見交換会に参加しやすくする対策について伺う。

**教育部長** 適正化時期に該当する保護者を対象に、開催日時や場所を検討し案内文書についても多くの方々に関心をもつていただき参加をいただける状況にする。

**窪** 通学路の安全確保について伺う。

**教育部長** 通学方法についてのご意見は多くあり、計画では、スクールバスを含め通学時の安全対策は重要な課題である。今後、通学ルートも含め関係機関と協議・連携を図り整備を図る。

**窪** 今後適正化の説明を行うときは通学路の話と並行して進めていただきたい。

次に、学校適正化の段階的実施について伺う。  
**教育部長** 計画の具体的実施にあたっては、複式学級を有する小学校や単式の中

学校など、教育的観点から、緊急性の高い学校順に段階的に進めていく。

**窪** 適正化の必要性について伺う。

**教育長** 今後10年・20年後の五條市の教育の体制を整えるため、市のまちづくり・地域づくりにかかる大きな事業であり教育体制を一定の集団を意識して構築し教育内容を効果的に整え、子供の成長を9年間を通した教育体制の中に構築することが大切である。

また、学校の小規模化が進み、良好な教育の提供に課題が生じることも懸念されることから適正化を進めていく必要がある。

### 市民に対する回覧文書について

**窪** 市から自治会に提供する回覧の現状について伺う。  
**理事** 行政情報は各所管課から単位自治会長に直接郵

送して回覧のお願いをしている。緊急的な場合を除き概ね1日・15日に自治会長宛に発送するよう各所管課に依頼している。

**窪** 今後、自治会長の負担軽減に対する対策を伺う。

**理事** 今後、回覧の必要性があるものか確認し回覧の量を減らす。依頼文書も自治会長の負担を軽減するよう工夫すると共に、各所管課から回覧文書を地域政策課で内容を確認し把握してから取りまとめ発送を行う。

### 防災行政無線について

**窪** 試験放送の結果について伺う。

**危機管理監** 数箇所において、音は聞こえるが放送内容が聞き取りにくい等の通報があった。スピーカーの方向修正等で改善をする。

**窪** 北宇智住川地区への対応について伺う。  
**危機管理監** 地元自治会と

の調整が不十分のまま設置したことでも地元から撤去の要請があり設置を断念した。住川町への対応として、隣接する北宇智体育館子局のスピーカーを増設すると共に同地区内のエルベタウンに設置するスピーカーの方向修正をして対処する。

**窪** 住川町に設置する必要があったスピーカーの増設や方向修正では万全と云えない。改善策後の試験放送を十分住民に伝え万全な体制での運用について伺う。

**危機管理監** 平成29年度末までを試行期間と考えており、随時問題点を把握し必要に応じ改善策を検討する。

**窪** 運用開始後の取組について伺う。  
**危機管理監** 現在、運用体制も含め運用規定の策定中である。防災行政無線の利活用についても今後の重要な課題であり総務省の指導も得ながら検討する。

## Q:「市民の借金」市債残高の今後5年間の見通しについて

A: 市債残高は徐々に増加するが、次世代に過度な負担を残さないことも重要と考えている。

牧野雅一議員



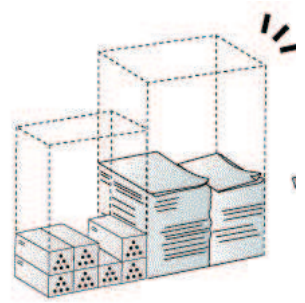
「市民の貯金」である市基金の状況について

**牧野** 新年度予算の財源不足を補填するため、財政調整基金からの一般会計への繰入は8億円。同様に、平成28年度の当初予算においても、基金からの繰入は6億円が計上されています。平成25年度決算時から平成29年度予算案まで、わずかに5年間で実に12億円の減となっておりこのまま推移すれば、やがて基金が枯渇し、予算が組めなくなるのではないのでしょうか。

**理事** 今後5年間を見通した場合、新庁舎や花咲寮などの整備が続く状況などから積み立ては困難な状況。予算編成時に財政調整基金に依存しない財政運営に取り組む必要がある。

**牧野** 大切な大切な、市民の貯金が、減少している事実をお伝えしたうえで様々な事業に理解を得て取り組まれますことを痛切に提言

させて頂きます。



「市民の借金」である地方債の状況について

**牧野** 「過疎債」や「合併特例債」は有利な財源という説明を幾度となく受けてきました。しかし、いずれも国からの借金であることには、いささかの違いもあります。約107億円という合併特例債の活用枠が与えられていますが、結果として「様々な工夫によって、これだけ使わずに済んだ(借金せずに済んだ)。」と言えるほうが良いのではと考えます。立派な施設ができようとも、借金が増え、子や孫に負債を

残すことを良しとする市民はいないと思います。地方債残高の推移を見ますと5年間で実に19億円の増と見通しを尋ねる。

**理事** 市役所新庁舎や花咲寮の整備など、今後5年間は多額の市債発行を要する建設事業が続くことから、市債残高は、徐々に増加する。少子・高齢化が著しい現状においては、次世代に過度な負担を残さないことも重要と考えている。

**牧野** 先人が築いてくれた私たちの故郷五條市を、大好きな五條市を継承し子や孫に負の財産を残さず伝承できる街づくりを今一度、熟考していただける事を強く願います。



他の一般質問  
○大塔町の復興・振興について

①進捗について  
②今後の展望について  
○市民目線から見た市の財政状況等について

①人材、施設の有効活用につながる行財政改革の方向性について  
○住んで良かったまちづくり計画について

①高齢者の住宅環境の充実  
②認知症対策の行政組織の取組について  
③南奈良総合医療センターへの交通事情について

